# 第 13 講　幕藩体制の動揺と改革
# PART4 宝暦・天明期の文化

## Chapter 1　文学と芸術の発達

目標
18 世紀後半に文化の裾野が広がったのはなぜだろう？
この頃からの浮世絵と，これまでの浮世絵の違いは何だろう？

### 1　文学・芸能

18 世紀後半の文化が〔1　　　　　　　　〕**期の文化**。
各地に**藩校〔藩学〕・郷校〔郷学〕・私塾**・〔2　　　　　　〕〔手習所〕が
開設されていたこともあり，武士だけでなく庶民の識字・教養の底上げがなされ，
文化の担い手・受け手の裾野を広げた。
①文学
元禄文学より通俗的で，政治・社会に題材をとり人間性は掘り下げない「**戯作**」が多い。
※江戸の蔦屋重三郎の耕書堂など，三都の本屋による旺盛な出版活動と，
**貸本屋**の増加が，都市部における活字文化の普及を支えた。
A　小説
あ　草双紙→子供向けの赤本から大人向けの黒本・青本へ
い　〔3　　　　　　〕→風刺・滑稽を基調とする絵入り小説（**寛政の改革で弾圧**）
※『金々先生栄花夢』（**恋川春町**），『江戸生艶気樺焼』（山東京伝）など。
う　〔4　　　　　　〕→遊里を題材とする絵入り小説（**寛政の改革で弾圧**）
※『仕懸文庫』（**山東京伝**）など。
え　**読本**　→伝説・歴史などを題材とした文章主体の小説
※『〔5　　　　　　　　〕』（**上田秋成**）が上方で人気を博す。
B　俳諧・和歌
俳諧では〔6　　　　　　　　〕，和歌では**万葉調**の**賀茂真淵**らが出る。
C　〔7　　　　〕→俳句の形式を借りて世相や風俗を風刺
機知に富んだ表現を売りに**柄井川柳**らが始め，『誹風柳多留』にまとめる。
D　〔8　　　　〕→短歌の形式を借りて世相や風俗を風刺
**大田南畝〔蜀山人〕**や**石川雅望〔宿屋飯盛〕**らが出る。

②芸能

A　**人形浄瑠璃**→歌舞伎に圧倒され低調

一中節・常磐津節・清元節などの唄浄瑠璃〔座敷浄瑠璃〕へと転化。

『仮名手本忠臣蔵』『菅原伝授手習鑑』（２世**竹田出雲**),

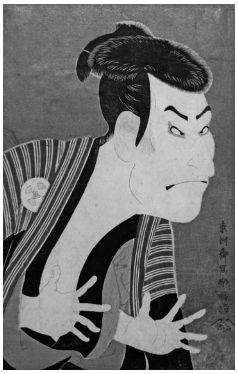
『本朝廿四孝』（**近松半二**）など。

B　**歌舞伎**→庶民生活を扱う生世話物が流行

花道・せり出し・廻り舞台など,

さまざまな趣向が凝らされ，大人気となる。

※寛政期には中村・市村・森田〔守田〕の江戸三座が栄えた。



大谷鬼次

## 2　美術

①**浮世絵**→江戸を中心に多色刷版画の〔9　　　　〕が流行

A　〔10　　　　　　　　〕　→『弾琴美人』などの美人画で錦絵を創始

B　〔11　　　　　　　　　　〕→『婦女人相十品』など**美人画**の名手

C　**東洲斎写楽**→『市川鰕蔵』『大谷鬼次』などの**役者絵**や**相撲絵**の名手

②伝統的な写生画→京都が中心

A　**伊藤若冲**→『群鶏図襖』など動植物を題材とする

B　〔12　　　　　　　　〕→『雪松図屏風』などで遠近法を駆使し**円山派**を創始

③**文人画**→中国の南画の影響を受け文人・学者が余技として描く

『〔13　　　　　　　　　　〕』（**池大雅・与謝蕪村**ら）

④**西洋画**→長崎を通して伝えられる

A　**平賀源内**　→『西洋婦人図』

B　〔14　　　　　　　　〕→平賀源内に学び**銅版画**を創始し『不忍池図』などで高名に

C　**亜欧堂田善**→松平定信に仕え『浅間山図屏風』などを描く

D　小田野直武→平賀源内に学び独自の秋田蘭画を創始

まとめ

産業と交通の発達に加え，18 世紀後半までに各種の学校が
全国各地に作られたことで，文化の裾野が広がった。
この頃から，挿絵・二色まででではなく一枚絵・多色刷の錦絵となった。

# Chapter 2　諸学問の発達

目標
儒学・洋学・国学の違いを知ろう。
大坂の商人たちが出資した懐徳堂の特徴は何だろう？

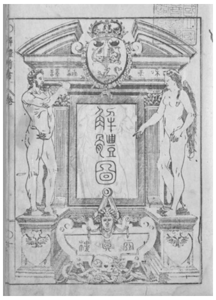
## 1　諸学問の発達

エレキテル

幕藩体制の矛盾が深まる中，幕府の政治・外交を批判する思想や，
近代的な合理主義の発想も生まれた。

①**洋学〔蘭学〕**の始まり

『〔1　　　　　　　〕』（**杉田玄白**・〔2　　　　　　　〕らが
オランダ語の解剖書『ターヘル＝アナトミア』を翻訳），『蘭学事始』（杉田玄白），
『**蘭学階梯**』（**大槻玄沢**），『西説内科撰要』（宇田川玄随），
『〔3　　　　　　　〕』（**稲村三伯**，初の蘭日辞書）など。
※漢方医学である古医方の〔4　　　　　　　〕が京都で腑分け〔解剖〕を行い，
『**蔵志**』を著して玄白・良沢らに影響を与えていた。
※長崎で学んだ〔5　　　　　　　〕が
摩擦発電機〔エレキテル〕，
寒暖計，不燃性の布などを発明。


『解体新書』の表紙

本居宣長

②〔6　　　　　〕の発達

儒学の古学派の研究法や歌学の刷新運動，**神道**思想などが源流となり発達。
古代人の生活・思想である**古道**を理想化する復古主義をとった。
『創学校啓』（**荷田春満**），『**万葉考**』『国意考』（〔7　　　　　　　〕），
『**古事記伝**』『源氏物語の玉小櫛』『秘本玉くしげ』『玉勝間』（〔8　　　　　　　〕）など。
※賀茂真淵に師事した盲目の学者〔9　　　　　　　〕は，
幕府の援助を受けて江戸に**和学講談所**を設け，『〔10　　　　　　　〕』を編纂した。

③諸思想の発達

A 〔11 〕の**心学〔石門心学〕**

儒教道徳に仏教や神道の教えを加味し，

『**都鄙問答**』で商人を中心とする庶民の生活倫理を説く（身分制社会は批判せず）。

※弟子の手島堵庵やその弟子中沢道二らにより全国に広まる。

B 〔12 〕の身分制社会批判

『**自然真営道**』『統道真伝』で「万人直耕の自然世」の理想を語る。

C 只野真葛→工藤平助の娘

国学の儒学批判に学びつつ，男女の才知の平等を主張。

## 2 教育と各種の学校

**①藩校〔藩学〕**

藩が直営し，藩士の教育を担う。儒学や武術・兵学以外にも，国学や洋学を取り入れる。

**②郷校〔郷学〕**

藩の援助を受け，藩士に限らず庶民の教育も担った。

**③私塾**

A 〔13 〕→儒学

中井甃庵らが**大坂**の商人たちから出資を受けて，初代学主に三宅石庵を迎え設立。

のち甃庵自身や子の中井竹山・履軒らが学主となり，朱子学や陽明学を教える。

※合理主義・実証主義的な立場から『**出定後語**』の〔14 〕や『**夢の代**』の〔15 〕ら異色の町人学者を生んだ。

B **芝蘭堂**→洋学〔蘭学〕

**大槻玄沢**が**江戸**で開く。新元会〔おらんだ正月〕の開催で有名。

C 鈴屋 →国学

**本居宣長**の**伊勢国松坂**の自宅２階を私塾とする。

**④寺子屋〔手習所〕**

師匠が男女に**読み・書き**・そろばんなどを教えた。

まとめ

儒学・洋学・国学はそれぞれ中国・オランダ・日本の学問である。

大坂の懐徳堂は現実主義的で合理的・実証的な町人学者を輩出した。

# 第13講 PART 4 確認問題

**1** 上田秋成が著した読本はどれか。

① 『仕懸文庫』　② 『金々先生栄花夢』
③ 『雨月物語』　④ 『江戸生艶気樺焼』

**2** 短歌の形式を借りて世相や風俗を風刺した狂歌の代表的作者はだれか。

① 賀茂真淵　② 大田南畝
③ 山東京伝　④ 与謝蕪村

**3** 役者絵や相撲絵の名手として知られる浮世絵師はだれか。

① 鈴木晴信　② 東洲斎写楽
③ 伊藤若冲　④ 喜多川歌麿

**4** 銅版画を創始したのはだれか。

① 亜欧堂田善　② 池大雅
③ 平賀源内　④ 司馬江漢

**5** 初の蘭日対訳辞書である『ハルマ和解』を編纂したのはだれか。

① 前野良沢　② 山脇東洋
③ 稲村三伯　④ 大槻玄沢

**6** 幕府の援助を受けて江戸に和学講談所を設けた塙保己一が編纂したのはどれか。

① 『創学校啓』　② 『玉勝間』
③ 『群書類従』　④ 『万葉考』

**7** 心学〔石門心学〕を創始した石田梅岩の著書はどれか。

① 『都鄙問答』　② 『夢の代』
③ 『統道真伝』　④ 『自然真営道』

**8** 懐徳堂で学び，合理主義・実証主義的な立場から『出定後語』を著したのはだれか。

① 山片蟠桃　② 大槻玄沢
③ 中井甃庵　④ 富永仲基

# 第13講 PART 4　確認問題 解答

**1** 解答：③　①の『仕懸文庫』は**山東京伝**の**洒落本**，②の『金々先生栄花夢』は**恋川春町**の**黄表紙**，④の『江戸生艶気樺焼』は山東京伝の黄表紙。

**2** 解答：②　①の**賀茂真淵**は和歌も詠んだ国学者，③の山東京伝は洒落本や黄表紙を著した作家，④の**与謝蕪村**は俳人。

**3** 解答：②　①の**鈴木晴信**は錦絵を創始した。③の**伊藤若冲**は伝統的な写生画を描いた。④の**喜多川歌麿**は『婦女人相十品』など美人画の名手。

**4** 解答：④　①の**亜欧堂田善**は松平定信に仕え『浅間山図屛風』などを描いた。②**池大雅**は与謝蕪村とともに文人画である『十便十宜図』を描いた。③の**平賀源内**は『西洋婦人図』などを描いた。

**5** 解答：③　①の**前野良沢**は**杉田玄白**らとともに『解体新書』を訳述した。②の**山脇東洋**は，『蔵志』を著して玄白・良沢らに影響を与えた古医方の医学者。④の**大槻玄沢**は『蘭学階梯』を著した。

**6** 解答：③　①の『創学校啓』は**荷田春満**，②の『玉勝間』は**本居宣長**，④の『万葉考』は**賀茂真淵**の著書。

**7** 解答：①　②の『夢の代』は**山片蟠桃**，③の『統道真伝』と④の『自然真営道』は**安藤昌益**の著書。

**8** 解答：④　①の山片蟠桃は『夢の代』を著した。②の**大槻玄沢**は**芝蘭堂**を江戸で開いた。③の中井甃庵は大坂の商人から出資を受けて，**懐徳堂**を設立した。